

令和5年10月30日

市内の全中学生を対象に朗読劇「家族草子」開催

－ 作詞家 ^{もりひろみ}森浩美氏の朗読劇で家族からの愛情や大切さを伝えます－

燕市では、市内中学生を対象として朗読劇「家族草子」を11月15日、16日に燕市文化会館で開催します。「家族草子」は、人気歌手などの楽曲約700曲の作詞を手掛けた^{もりひろみ}森浩美氏が、自身の短編小説を戯曲化した舞台です。中学生という多感な時期に、かけがえのない家族からの愛情の大切さや絆をテーマにしたプロフェッショナルの朗読劇を鑑賞することで、「人を思いやる気持ち」や「支え合う心」を育み、生徒の人権意識の醸成を図るとともに、人生を前向きに捉え、将来に夢や希望を持つことの意義を考える機会としてまいります。

【中学生鑑賞会 朗読劇「家族草子」の概要】

1.日 時：11月15日(水)

- ・午前10時30分～11時30分（小池中学校、燕北中学校）
- ・午後2時30分～3時30分（吉田中学校）

11月16日(木)

- ・午前10時30分～11時30分（燕中学校）
- ・午後2時～3時（分水中学校）

2.会 場：燕市文化会館(燕市水道町1-3-28) 大ホール

3.対 象：市内中学校に通う生徒

4.森浩美氏プロフィール：

作詞家、作家。SMAP「青いイナズマ」「Shake」「ダイナマイト」、森川由加里「SHOW ME」、Kinki kids「愛されるより愛したい」、田原俊彦「抱きしめて tonight」等、作品総数約700曲。また、家族を題材とした「家族の言い訳」「こちらの事情」、「夏を拾いに」等のロングセラー小説多数。近著に「家族連写」「終の日までの」。



家族草子とは

「家族草子」は、森浩美の短編小説を自らが戯曲化し、それを保倉大朔が丁寧にかつ繊細に演出。10名程度の演者に加え、ギターやピアノなどの生演奏を交えて創り出す舞台。演者は台本を手にしていますが、椅子に座ったままではなく舞台上を動き回ります。それはお芝居、いえ、まるで自宅の居間でテレビのホームドラマを観るような感覚。そして何より、その名の通り、すべてが家族の物語です。

「子育てするなら燕市で」



には理由がある。

本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 学校教育課：岡田（美）
電話：0256-77-8191（直通）